



ゆき 雪とけて むら 村いっぱいの こ 子どもかな

こばやし いっ さ  
小林 一茶



かね 鐘ひとつ う 売れぬ ひ はなし え ど 江戸の はる 春

たから い き かく  
宝井 其角



やま じ 山路きて なにやら ゆかし ぐさ すみれ草

まつ お ば しょう  
松尾 芭蕉



われ 我ときて あそ 遊べや おや 親の ない すずめ 雀

こばやし いっ さ  
小林 一茶





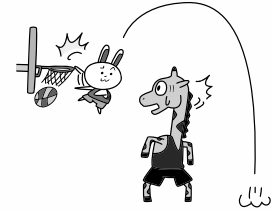
おんせい  
音声はこちら

# 慣用句

## 1年目 ステップ12

はな  
鼻をあかす

自分より優位に立っている相手を出し抜いて驚かせる。



はら わ  
腹を割る

包み隠さずすべてを打ち明けること。



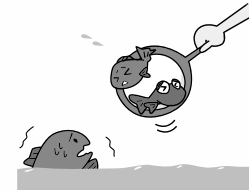
め うたが  
目を疑う

意外なものを見て本当かどうか自分の目が信じられない。



むね  
胸がつぶれる

悲しみや心配ごとで生きた心地がしない様子。



くちぐるま の  
口車に乗る

たくみな言葉で言いくるめられてだまされること。





## 《漢和辞典のうた》

この漢字 何て読む

この漢字 どんな意味

そんなとき 役に立つのが 漢和辞典

さあ 調べよう

調べかたは 音訓 画数 部首 三つの方法

読めたかな

画数引き

読み方も部首もわからない時は

総画索引を見て探そう

部首引き

部首がわかる時は

部首索引を見て探そう

部首をのぞいた画数順に  
ならんでいるよ

音訓引き

読み方がわかる時は

音訓索引を見て探そう

音読み、訓読みのどちらかが  
わかれば探せるね



おんせい  
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ12

のう たか つめ かく  
能ある鷹は爪を隠す

じつりよく あるひと あらわ けん きょ  
実力のある人はむやみに表さず謙虚であるとい  
うこと。



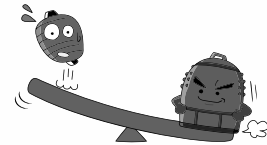
いち き じゅう し  
一を聞いて十を知る

じょうほう ものごと りかい  
わずかな情報で物事のすべてを理解するという  
こと。



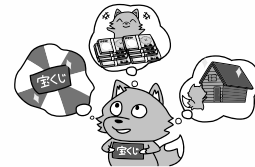
ちょうちん つ がね  
提灯に釣り鐘

つ あ  
釣り合わないもののたとえ。



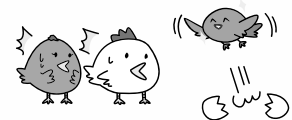
たぬき かわざん よう  
とらぬ狸の皮算用

かくじつ きたい はいかく  
確実でないことに期待していろいろ計画をたて  
ること。



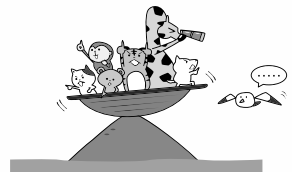
とんび たか う  
鳶が鷹を生む

へい ぼん おや すぐ こ  
平凡な親から優れた子どもが生まれること。



せん どう おお ふね やま のぼ  
船頭多くして船山に上る

し じ ひと おお とう いつ けん とう ちが  
指示する人が多くて統一がとれず、見当違いの  
方へ進んでしまうこと。



# 百人一首

## 1年目 ステップ12



おんせい  
音声はこちら

このたびは  
幣<sup>ぬさ</sup>もと  
紅<sup>もみじ</sup>葉<sup>の</sup>錦<sup>にしき</sup>  
の錦<sup>にしき</sup>あへず  
神<sup>かみ</sup>の手<sup>た</sup>向<sup>むけ</sup>山<sup>やま</sup>  
のまにまに

(菅<sup>かん</sup>  
家<sup>け</sup>)

月<sup>つき</sup>見<sup>み</sup>れば  
千<sup>ち</sup>々<sup>ち</sup>に物<sup>もの</sup>こそ  
わが身<sup>み</sup>一<sup>ひと</sup>つ  
の悲<sup>かな</sup>しけれ  
秋<sup>あき</sup>にはあらねど

(大<sup>おお</sup>江<sup>え</sup>千<sup>ち</sup>里<sup>さと</sup>)

